

大会レポート 三尾川大会

14/6、10日(火曜日)

河野

良いお天気が続いておりましたが、いよいよ今日から入梅が発表されました。今年春の海水温の上昇は例年に比べて少し遅いように思われますが、山口渡船のホームページを見ると、近日の三尾川の筏は良く釣れていて水温の低下など余り感じさせないようです。今日の参加者は山川副会長、寝屋川の上西さん、長岡京の山本さん、私河野の4人です。上西さんの希望で副会長と同じ筏と云うことになり船は最初に沖の筏に山川副会長の組、その手前の筏に私が乗って、少し遅れて山本さんが乗ってきました。風も無く絶好の釣り日和、でも今日は中潮なのに三尾川独特の早い潮の流れがありません。船頭さんの話では今日は潮が動かないので釣果が上がらないのではと心配しておりましたが、7時過ぎ山本さんに大きな当たりで、まあまあサイズ、それから10分位して私の竿に餌取りとは違う当たりで山本さんのよりは少し大きめ、それ以前に私は小さいフグ1匹釣っておりましたが、時間が過ぎるにしたがって餌取りの猛襲、オキアミだとダンゴが割れると瞬間に取られるみたいそれを合わせて15~16センチ位のカワハギ。餌のボケ1匹40円もしますけど10匹買いました。山本さんは25匹買ったそうです。アケミ貝も買いましたので今度は剥き身で狙います。ダンゴから抜いていきなりガツンと大きな当たりで先ほどより少し大きめ、前当たり？そんなものはありませんいきなり大きな当たり、これが「荒食い」でしょうか？次にオキアミで、やはりいきなりおおきな当たりで連続ヒットと思いきや中々竿が立ちません2号の糸ですし2号で竿が折れることもありませんので強引に引っ張って巻いて見えてきたのは例の奴(ボラ)、オキアミだとボラに吸い込まれます。山本さんもボラを掛けますが竿を立てないまま底でばらします。私は数年前から市販の誰もが持っている一般的な竿は買いません。自作しますが材料を指定して買いますので少し高くつきますが思いのままの竿が出来ます。ですから2.5号の糸で竿が折れることはありません。その前に糸が切れるのです。それが正しい姿です。私も経験がありますが径6*内径5、カーボン100の竿で2号の糸、根掛かりを強引に竿を立ててバキッと云わせた事がありますが、最近市販のカーボン100の竿は改良が進んで2号の糸で折れることはありません。お奨めはグラスロットの8.000円位の物(ダイワ製)で充分です。私のは材料費だけで1万3千円程かかります。

話がそれましたが、それから1匹追加して3匹昼頃から南風が強くなり、また雨がパラパラと落ちてきますので副会長が反対向きに座りましょうとの声で港方向に山本さんと座りますが、それらしい当たりも無く、考えて見れば棧木にねじの跡が1箇所もありません。やっぱりで又山本さんと元に戻り衣奈向きに座りますが風は強くなる一方です。こちら向きの副会長は竿を曲げております。沖側に座っている副会長は、衣奈向きでも港方向でも釣ります。

4時まで粘りました。私はボケで1匹。貝で1匹、オキアミで1匹でした。

匹数優勝 山川副会長 32~40センチ 11匹

長寸優勝 河野 36センチ 他31 34

長寸 2位 山本 31センチ 以上

それからですが、山川副会長は会長の代行ですから、その会長が私にレポート書きなさいとの命令ですから私が久しぶりに書かせていただきました。いつものように山川副会長はチヌを持ち帰りません。山本さんも、上西さんも要らないと言います。皆さんは良くご存知です。冬のチヌは油がのっていますが、6月産卵後のチヌは痩せていて美味しくありません。誰も要らないと言いますが捨てる訳にも行きませんので私が引き受けました。私の3匹と山本さんの1匹、計4匹とボラ1匹は帰りに馴染みの居酒屋に置いて帰り、残り持ち帰って見ると大きいチヌ程見る影も無く痩せていますので処理に迷います。

以上